

平成25年度事務事業評価調査

整理番号	13	枝番	1
評価担当課	環境生活課廃棄物対策係		

1 施策体系と事務事業

事務事業名	ごみ減量化推進事業			
総合計画の位置づけ	有	基本目標	3	自然と環境にやさしく快適で安全なまちづくり
	無	主要施策	2	循環型社会の形成
		基本事業	1	3R運動の推進
		実施計画事業	1	リサイクルの推進

2 事務事業の概要等

目的(何のために)	ごみの減量化及びリサイクルの推進			
対象(何を又は誰を)	営利を目的としない各種団体及び回収業者			
手段=活動(仕事) (どのような方法で)	営利を目的としない各種団体が資源の回収を行うと、回収した量等に応じて奨励金を交付する。また、資源の回収を受け入れた業者には、受け入れ量に応じて協力金を交付する			
意図(どのような成果を期待しているか)	資源(紙類・金属類・びん類)の適切な分別により、処分場の延命及びリサイクルの推進			
事業実施主体	名寄市			
事業実施方法	直営	一部委託	全部委託	補助券 請負 その他()
事業実施期間	始期	H12年度	終期設定	有(終期年度) 無
根拠法令・条例等	名寄市資源集団回収事業奨励金助成事業実施要綱			

3 事務事業の現状

(1) 達成状況等の推移

	指標名及び内容		単位		H22	H23	H24	H25見込	目標年度 (26年度)
	1	2			実績	実績	実績	実績	実績
活動指標	1	奨励金交付件数	件	目標	86	86	86	86	86
		実際に支援を行った件数		実績	75	77	80	-	-
	2	協力金交付件数	件	目標	5	5	5	5	5
		実際に支援を行った件数		実績	3	3	4	-	-
成果指標	1			目標					
				実績					
	2			目標					
				実績					

(2) 事業費の推移

(千円)

区分	H22決算	H23決算	H24決算	H25予算	平成24年度の事業費内訳	
事業費	1,923	1,904	1,922	1,980	新聞・雑誌 450,475kg×2.5円≒1,126,184円 アルミ・スチール缶 18,590kg×5円≒92,951円 紙パック 4,331kg×5円≒21,652円 リターナブルびん 22,779kg×2円≒45,556円 金属類 10,949kg×2円≒21,895円 回収実績割 438,000円 資源回収協力業者協力金 174,832円	
人件費	1,982	2,005	1,989	1,989		
平均給与額	6,608	6,683	6,629	6,629		
担当職員数	0.30	0.30	0.30	0.30		
総事業費	3,905	3,909	3,911	3,969		
対前年比(%)	-	100	100	101	コストの算出方法	
事業コスト	活動指標1	52	51	49	46	総事業費/件数
	活動指標2	1,302	1,303	978	794	総事業費/件数
	活動指標3					

(3)事業スタート後の情勢変化やこれまでに取り組んだ改善点

情勢の変化	
改善点	指摘事項 有 () <input checked="" type="radio"/> 無

4 事務事業の点検

以下の視点から点検し、(a:高い、b:やや高い、c:やや低い、d:低い)から選択し、その理由等を記入すること。

項目	評価	判定した理由・説明等
妥当性		
市が主体的に実施すべきか、社会・市民ニーズに適合しているか？	a	本事業は総計実施計画搭載事業である。ごみの減量化・リサイクルの推進は必須の課題である。今後も各種団体・回収業者に周知しながら、役割を分担し、市としての責務を積極的に果たしていく必要がある。
有効性		
目的を達成するための方法として有効か？	a	各種団体・地域で直接資源を回収することにより、分別の意識が高まりとても有効な手段である。本事業の推進により、廃棄物の減量や最終処分場の延命化、資源の有効利用が進み、循環型社会の形成が図られる。
効率性		
経費に見合った成果が発揮されているか、コスト削減の余地はないか？	a	奨励金及び協力金は回収量に応じて交付しているため、経費の削減等は困難である。また、キロ当たりの単価についても、めまぐるしく変化する現在の情勢において一定の単価を維持することで、回収したリサイクル資源を停滞することなく売却することができる。類似事業はなく、統廃合する事業はない。
公平性		
受益者負担は適正か、受益者に偏りがないか？	a	奨励金の対象は、営利を目的としない団体のため、町内会等に参加していれば全名寄市民が対象となる。また、協力金の対象業者は、警察から古物商の許可を受けている業者となるため、安心で安全な取引ができる。
達成度		
活動指標、成果指標の達成度は？	a	奨励金及び協力金の過去三年間の活動指標の達成率は90%と目標を若干下回っている。ただし、奨励金の回収量は年々増加傾向にあり、100%を超えている。

5 1次評価

評価結果	理由	
A	ごみの減量化・リサイクルの推進は名寄市にとってはとても重要な課題である。ここ数年の目標は概ねクリアしており、本事業で高い効果が発揮されている。今後も継続していく必要があり、さらなる効果が期待できる。	
A:現状のまま継続	改善の方向性(評価B,C,Dの場合には必ず記入すること)	
B:進め方を改善		
C:規模・内容を見直し D:抜本的な見直し(廃止・縮小)	本事業では各種団体が集めた資源を回収業者が引き取らないと、事業として成り立たなくなってしまうので、回収業者への周知等が必要である。	

6 外部評価(1次評価に対する提言等)

評価結果	提言等

7 2次評価(1次評価、外部評価を受けての最終評価)

評価結果	意見等
A	ごみの減量化・リサイクルの推進のため必要な事業であり、今後も更なる推進が必要。